

# 火葬場の火葬能力を超える死亡者が発生した場合に対応する

## 火葬・遺体保存対応マニュアル

### 1. 目的

「新型インフルエンザ」の感染が拡大し流行した場合には、死亡者の数が火葬場の処理能力を超える事態が起こり、火葬の円滑な実施に支障を生ずるとともに、火葬に付すことができない遺体の保存対策が大きな問題となる。本マニュアルは、こうした事態に対応した円滑な火葬の実施と、適正な遺体安置を行うことを目的とする。

### 2. 対策のフロー

#### 現段階

- 県及び松江保健所等の関係機関と連携を強化し情報の共有化を図る。(稼働可能火葬炉数、平時及び最大稼働時の一日当たりの火葬可能数、使用燃料及び備蓄量、職員の配置状況等の火葬場の火葬の能力並びに一時的に遺体を安置することが可能な施設数など)
- 火葬場の対応能力を超える火葬方法及び遺体安置方法の検討。
- 新型インフルエンザの発生に備えて、周辺の火葬場管理者及び葬祭事業者等関係団体との連携体制を構築する。

海外発生期

#### 1 火葬作業従事者への対応

- 感染予防のためPPE（防護具）を配置

#### 2 火葬体制の整備

- 火葬炉の点検整備（短期間であれば、松江市斎場 6 炉 3 回転で 1 日 18 体、玉井斎場 3 炉 3 回転で 1 日 9 体、合計 1 日 29 体の火葬は可能）
- 火葬業務経験者（市職員）の把握（応援体制の検討）
- 周辺自治体と広域的火葬実施の協議
- 葬祭事業者の遺体搬送能力、棺及び骨壺等の在庫調査

#### 3 遺体安置所の検討

- 遺体安置所設置の検討

国内発生期

#### 1 火葬体制の確立

- 火葬までの手続き方法について各支所（市民生活課）、玉井斎場管理組合、雲南市・飯南町一部事務組合と協議
- 6 炉 3 回転に向けた炉の点検及び整備と、職員体制の確立
- 棺及び骨壺等の必要数の推計と確保（葬祭事業者への依頼）
- 火葬場、遺体安置所及び遺体搬送時の感染予防対策作成
- 県及び周辺自治体との広域的火葬実施の協議

#### 2 遺体安置所の決定

- 遺体安置所の決定と依頼（対策本部、県、警察、葬祭事業者等）
- 遺体安置所の使用に関する手続方法及び搬送計画等の検討

## 1 火葬の実施

- 火葬受付体制の確認（各支所、玉井斎場管理組合、雲南市・飯南町一部事務組合等）
- 県より感染防止のための手袋、サージカルマスク、非透過性納体袋等の物資受取
- 遺体からの感染を防ぐため、遺体を非透過性納体袋に収容・密封し、遺族の意向にも配慮しつつ、極力そのままの状態で行火葬を実施
- 遺体に直接接触する葬祭事業者等に対し、説明会を開催し感染防止資材及び非透過性納体袋を配布
- 状況に応じて使用炉数及び回転数を検討（6炉3回転・3炉3回転・集骨遺族数の制限）
- 状況に応じて広域的火葬の実施

## 2 遺体安置所の設置

- 火葬場の処理能力に応じて開設（遺族の意向に配慮）
- 人員、感染防止資材の配置
- 搬送計画に基づき搬送実施

## 1 火葬の実施

- 状況に応じて炉の回転数の検討（4回転以上、火葬炉業者等との協議）
- 周辺自治体の状況により、より広域的火葬の検討（県、周辺自治体等との協議）

## 2 遺体安置所の設置

- 状況に応じて増設の検討
- 車両、人員、感染防止資材等の確保

## 3 仮埋葬の検討

- 火葬、仮安置が困難になった場合、市有地での仮埋葬の検討
- 感染予防対策、必要資材、人員の準備
- 遺族の意向を配慮

## 1 火葬体制の変更

- 状況に応じて広域的火葬の縮小及び火葬炉の回転数の削減を検討

## 2 遺体安置所の閉鎖

- 状況に応じて遺体安置所の規模を縮小

## 3 仮埋葬遺体の火葬

- 火葬場の状況により仮埋葬遺体の火葬を実施（必要資材、人員、搬送計画）
- 遺族の意向に配慮するとともに、感染予防対策実施